

環境調査結果のお知らせ

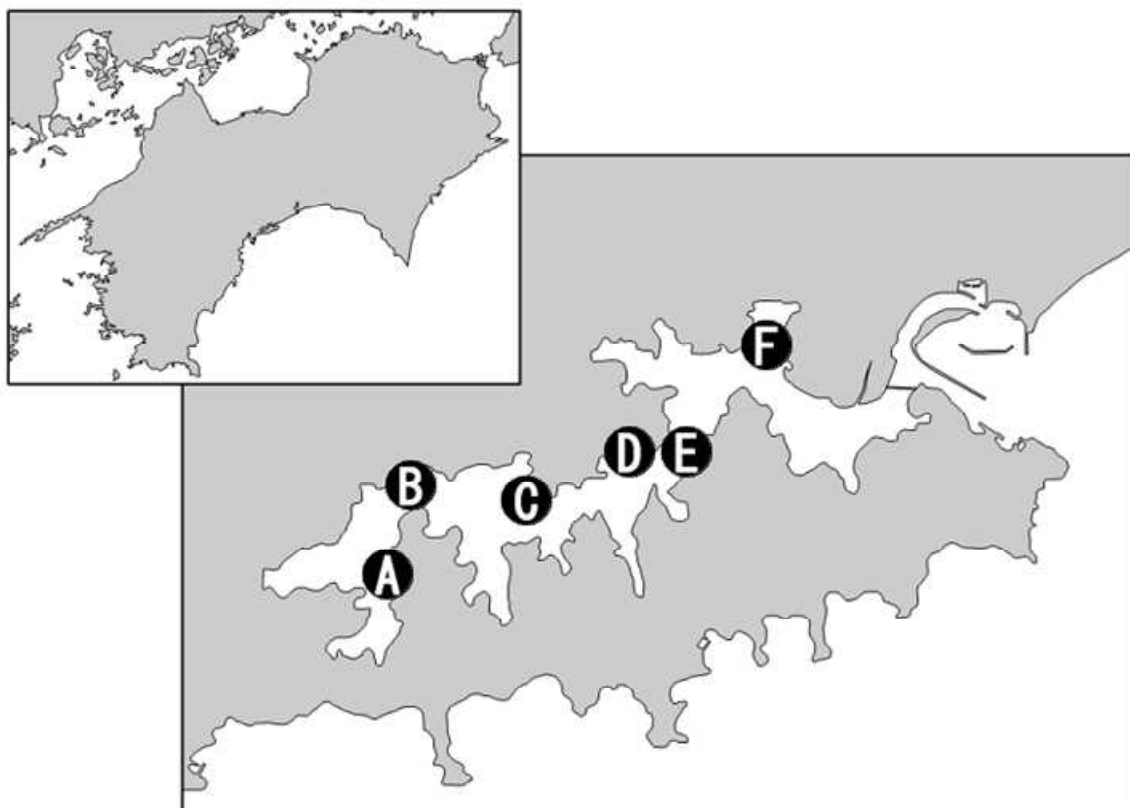
令和6年7月12日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で950 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えていますので、十分注意してください。浦ノ内湾養殖漁場の10 m層及び底層が貧酸素状態となっています。今後、貧酸素水塊が5 m層付近まで拡大する恐れがありますので、注意してください。

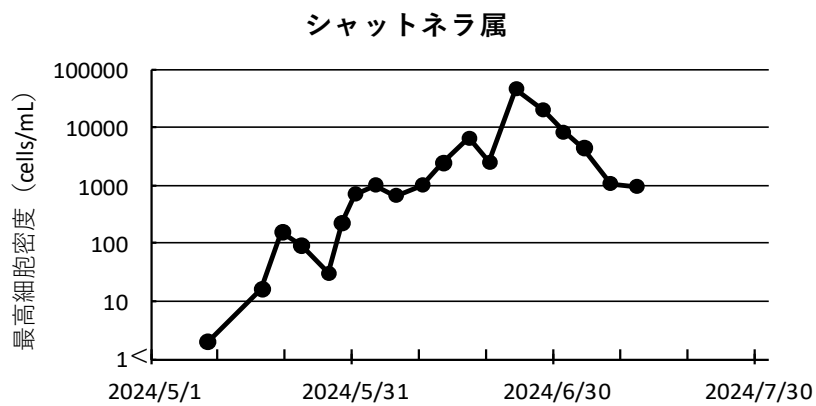
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	シャットネラ 属	珪藻
A 鳴無 (2.2m) 【10:07】	0	27.4	13.2	8.2	3	-
	2	28.3	29.2	9.0	17	-
	5	25.5	29.6	2.9	950	-
	8	24.6	29.9	0.0	360	-
	底層 9	23.9	24.8	0.0	58	-
B 中学校前 (2.4m) 【10:17】	0	28.0	15.3	8.3	0	460
	2	27.8	29.3	9.1	2	400
	5	25.8	30.0	4.3	2	40
	10	24.5	30.0	0.0	57	0
	底層 12.5	24.0	30.1	0.0	4	0
C 目ノクソ (2.5m) 【10:30】	0	28.3	8.4	9.0	0	1,400
	2	28.0	29.2	8.7	0	1,020
	5	26.3	30.1	5.8	0	420
	10	25.3	30.2	1.5	0	200
	底層 16	23.5	30.4	0.0	0	0
D 光松 (3.6m) 【10:40】	0	28.1	22.9	8.5	0	1,250
	2	27.1	28.2	7.9	1	1,100
	5	26.6	30.1	6.0	0	1,100
	10	25.5	30.4	2.1	0	280
	底層 17	23.9	30.5	0.0	0	180
E 大鹿 (3.5m) 【10:52】	0	27.4	20.5	8.0	0	900
	2	27.1	27.5	8.0	0	950
	5	26.7	30.0	6.4	0	400
	10	25.6	30.4	2.8	0	0
	底層 16.5	23.8	30.4	0.1	0	40
F 水試小割前 (3m) 【11:03】	0	26.4	21.6	7.4	0	100
	2	27.0	28.7	7.2	0	500
	5	26.7	29.8	6.5	0	900
	9	26.3	30.9	4.8	-	-
	底層 10	26.3	29.0	4.6	0	300



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。